

令和5年度 第2回 三郷市青少年問題協議会会議録

開会の日時	令和6年 2月14日(水) 午後2時00分
閉会の日時	令和6年 2月14日(水) 午後3時06分
開催場所	農業委員会議室
出席状況	委員10名 事務局10名

議 題	(1) 青少年行政施策について (2) 意見交換 (3) その他
-----	--

席次番号	委員氏名	摘要	席次番号	委員氏名	摘要
1	木津 雅晟	出席	11	平井 雅三	出席
2	高野 諭	出席	12	加藤 宇宙太	欠席
3	藤井 邦之	出席	13	山内 悠希	欠席
4	中村 和美	出席	14	清水 睦美	出席
5	石井 和男	欠席			
6	篠宮 尚	出席			
7	福岡 孝彰	出席			
8	谷口 喜久男	欠席			
9	岩間 かおり	出席			
10	山崎 治	出席			

事務局出席者名	大塚教育長、梅澤生涯学習部長
	西村学校教育部参事兼指導課長、加藤指導主事、杉山指導主事
	羽ヶ崎生涯学習部副部長兼青少年課長、岩崎専門指導員、石井係長、森島係長、田代主事

会議の概要または特記事項

傍聴人数：0人

会議名	第1回 三郷市青少年問題協議会の内容
議長	<p>次 第</p> <p>1 開 会</p> <p>2 会長あいさつ 木津市長</p> <p>3 議 事</p> <p>(1) 青少年行政施策について それでは本日の議事に入ります。 青少年課及び指導課からの「青少年行政施策について」説明をさせていただきます。事務局からお願いします。</p>
事務局	<p>事業概要等の説明 (青少年課・指導課)</p>
議長	<p>(2) 意見交換について</p> <p>ただいま、「青少年行政施策について」、事務局から説明がありました。新型コロナウイルス感染症につきましては、昨年5月に「5類」へ移行し、私たちの日常が戻ってきております。日常が戻ることに伴い、青少年を取り巻く環境にも大きな変化が生じており、青少年問題はますます多様化・複雑化していると言えます。青少年問題を解決するうえで、今後も様々な立場の方が協力していくことが必要不可欠であります。</p> <p>それを踏まえまして議事の(2)意見交換といたします。「5類」へ移行したことに伴う青少年に係る新たな問題や、青少年との接し方への変化など、それぞれの立場から取り組んでいることや課題に感じていることなどについてお聞かせいただければと思います。</p> <p>はじめに、昨今の青少年における非行・犯罪情勢の変化や傾向等について、感じていることを警察官の立場からお話を伺えればと思います。よろしく願いいたします。</p>
委員	<p>現状の少年非行の情勢、まずは数字からお話の方が理解しやすいと思いますので、口頭ではありますがお話をさせていただきます。</p> <p>まず、少年非行を語る上で統計を取っている数字が、検挙と補導になります。</p> <p>まず検挙ですが全件的な傾向といたしまして、令和5年中に犯罪で検挙された少年が1,272人。前年と比べますとプラス351人、増減率にしますとプラス38.1パーセントという状況になっております。検挙された罪状の半数は窃盗です。</p> <p>では、吉川警察署管内ではどうかですが、残念ながら市町村別の数字は出ませんが吉川警察署管轄の三郷市、吉川市、松伏町の総数になりますが、検挙が62人。前年と対しますとプラス41人、統計率にしますとプラス195.2パーセン</p>

トとなり約3倍です。

では、どの学校の子が検挙されているのかと申しますと、一番多いのは中学生と高校生これは同数ですが、20人ずつ検挙。どのような犯罪に手を染めてしまったかという、県の傾向と変わらず、「窃盗」が約半数、それ以外の目立ったところだと、傷害や強盗という状況になります。若干ではありますが、犯罪に手を染めるというのが、コロナ禍を過ぎて、外に出て、友達とつるむようになり、通常警察で取り扱う傷害暴行の他、SNSがらみのトラブルに端を発し徒党を組んで強盗をするなど悪質な犯罪が見て取れるかなと思います。以上が検挙の状況です。

続いて「補導」ですが、全県下の状況といたしまして令和5年中16,791人を補導しております、これは前年対比にしますとプラス1,478人、増減率にしますとプラス9.7パーセントとなり増加。多い行動種別は「深夜徘徊」夜11時以降に理由もなく出歩いている子です。

それに続いて「不健全娯楽」いわゆるゲームセンターなど繁華街にありがちな所に足を踏み入れている、また時間指定されている所に保護者の同伴なく入ってしまっている場所での補導が多い状況です。

吉川警察署管内で言いますと1,183人を補導、前年度対比しますとプラス308人、増減率にしますとプラス35.2パーセント。前結果の傾向と若干異なるのは、吉川警察署管内でもっとも多い補導比率は不健全娯楽、続いて多いのは深夜徘徊その後に喫煙が続きます。補導は見方を変えれば犯罪や非行に手を染める前に警察官あるいはボランティアさんが発見してその道を正しい方向に軌道修正するという意味合いもあると思いますので、件数が増えたからと言って全部がけしからんのかと言うとそうではないと思いますけれど、この件数が前年と比較すると検挙についても補導についても爆増していると感じられます。

ただ過去5年の数字などと比較してみると、実は令和元年中の数字とほぼ変わらない水準です。なので令和2年から令和4年のいわゆるコロナ禍で件数が減ったと、それにより外出制限も解除され今まで通りの子どものあり方に戻ってしまったのかなと見て取れます。以上が検挙と補導です。

今申し上げたコロナ禍で人との繋がりや外出が規制されていたことが別の意味で波及しているなど感じる事がございまして、それがSNSとSNSに端を発したいじめです。対面で一緒に遊んでそこでトラブルがあつてというのがコロナ前の状況でしたが、コロナの情勢になった事で面と向かって遊ぶというよりは、SNSで繋がったり、接触なしの状態での仲間、ネット空間だけで繋がったゲームなど、ネットを使って話をしたりとかが増え、SNSでの誹謗中傷による警察への相談が非常に多いです。

表面上は仲良くしているように見えても、匿名性を利用して個人のアカウントに誹謗中傷の書き込みをするということがあります。見なければいいじゃないかという意見もあると思いますが、今の子どもたちは見られてなんぼというところがありますので気にしてしまう。

	<p>それによりメンタルを病んでしまって親御さんが知るところになり、学校や警察に相談という流れがあるのかなというところがございます。また三郷市の話ではありませんが、いじめが事件に発展してその背景にはSNSがあつてというようなかたちが散見されております。これもコロナがあけてからの悪い意味での影響のひとつなのかなと思います。傾向については以上になります。</p> <p>対策といたしましては、警察では医療にたどえたりしますが、外科的な処置はできます。例えば悪さをはたらいた人間に対して一罰百戒的に最悪逮捕。そうではなくても任意で検挙ということはできますが、それ以降のケアや再発防止のためにどうしたらいいのかについては学校関係者の皆様や地域の皆様にご協力をいただきながら、軌道修正を図っていく他ないのかなと思いますので、引き続き我々警察と協調路線を歩んでいただけたらなと思いますので、よろしく願いいたします。以上です。</p>
議長	<p>ありがとうございます。警察官の立場からお話を伺いました。</p> <p>犯罪件数が令和元年に戻ってきたのではないかというお話でした。</p> <p>続きまして知識経験者の立場から青少年の変化について感じていらっしゃることや、今後の課題などをお聞かせいただければと思います。よろしく願いいたします。</p>
委員	<p>青少年課、指導課の皆さんが様々な問題に取り組んで、働きかけをして子ども達を成長させているなと感じました。</p> <p>退職してから5年が経ちますが、子ども達が通学するときに一人あいさつ運動をしております。</p> <p>最初の頃は、恥ずかしがって下を向いて歩いていた子もいますけれど、回数を重ねる事で元氣よく挨拶をしてくれています。その中で挨拶って広がっていくのだなと感じました。</p> <p>ある女の子ですが、会社に通う大人の人にも挨拶を始めました。私は子ども達にしか挨拶をしていなかったのですが、そこから広がってその大人の方も私も挨拶をするようになり、中学生、高校生が通る中で挨拶をしたり、また自転車を一所懸命こいで保育園へ向かっているお母さんの後ろに乗っている男の子が「おはようございます」と言ってくれました。子ども達、素晴らしい心を持っているなと感じている次第です。これからも続けていきたいと考えております。</p> <p>また、二十歳のつどいに私も列席させていただきました。</p> <p>会場内ざわざわしていたのですが、話が始めるとシーンとなって聞く姿を見て成人を迎えた人達に拍手を送りたいなと思い、気持ちよく家に帰りました。</p> <p>科学技術の発達によりAIが論文や読書感想文を書いてしまうというニュースを見たり、先程警察の方から青少年の現状を聞きショックを受けました。</p> <p>これからも、健やかに成長し健全に生活することを望んで、これからも子ども</p>

議長	<p>達のことを見守っていきたいと思います。以上です。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>知識経験者の立場からお話いただきました。</p> <p>あいさつ運動を継続していくとその繋がりが伝わっていくのを感じました。</p> <p>青少年問題の課題解決を進めるには、子どもや子育て中の保護者や地域の声に耳を傾けることも大切です。</p> <p>そこで日頃から民生委員・児童委員の立場から青少年における課題等についてお話を伺えればと思います。よろしくお願いいたします。</p>
委員	<p>コロナが5類以降になって、学校と民生委員で連絡会を行い、そこで学校から例えば課題を抱える家庭やお子さんしたこと、いわゆる地域の見守り役として活動させていただいております。</p> <p>先程、動画やスライドで見た活躍されるお子さんがいる一方、どちらかと言うと私たちは、家庭に課題を抱えている、また最近よく耳にするヤングケアラーと言われているお子さんなど、そういう人達を早期発見できるように、地域の中でそういうお子さんがいるかもしれないという視点や意識を常に持つことを共有しております。</p> <p>コロナの間は皆さんマスクをしていて、5類に移行してからはマスクを外している人もいるが、外していない人もいる、お子さんも同じで外している子と外していない子がいて、クラスで少数派になった場合、いじめの対象になってしまうのではないかと危惧することがあります。</p> <p>マスクをしていると大人でも同じですが、目の表情から気持ちを伺い知るので、目は口程に物を言うとは言え、やはりマスクを外して顔全体の表情を見ないと分からないところもあると思います。</p> <p>以前、不登校生徒に係る仕事をしていましたが、その中に1人だけコロナ禍になる前から夏の暑い中でもずっとマスクを外さない子がいて、その子の心理からいくと、マスクは一つの自分をガードするモノなのかなと感じたことがあって、なのでマスクを着けている着けていないというところは、民生委員としても児童委員としてもマスクの事に関して発するときは気を付けないといけないと意識しております。</p> <p>それと、話は変わりますがコロナ禍で学校に行っても例えば音楽の時間でもリコーダーも吹けない、声を出して歌も歌えない、給食もしゃべらず真っ直ぐ向いて黙々と食べる、こんな中で学校って何だろうと思った子っていると思います。</p> <p>一方で、コロナ禍が後押ししたものとして、デジタル化があると思います。小中学校にタブレットが配布されてそれで勉強もできる、じゃあ家でもできるじゃないか、学校って行かなくてもいいのかなとか色んな事を子どもなりに思ったのではないかと思います。</p>

	<p>私たちはどちらかというと学校に行けないお子さんの事を、学校の方から地域の方で見守る。民生委員・児童委員というのは積極的にお家にいきなり伺うなど勝手な行動はしない事になっています。あくまで学校と綿密に連携して地域で見守る。学校の先生達は家庭訪問とかはいらっしゃると思いますが、例えば学校に来られないお子さんのお家がお母さんは働いているのか、何時ころ帰ってくるのか、夜電気はついているのか、洗濯物は干してあるのかなど地域でしか見守れないような役割があるのかなど。あくまでも見守り、その中で気が付いた事の情報学校に提供するという事をさせていただいています。</p> <p>コロナが5類に移行してから、家に居ることが多かったり、先程も言いましたが学校に行かなくてもという気持ちになったお子さんも、何か学校に行きづらかったり、ずっと欠席が続きたりというお子さんもいるのかなどというところで、大人も同じですが外に行かなくても用事が足りたり、ずっと家にいたりして、そうすると外に出ていくのが億劫ということもあつたりとか、色んな家庭の中の事情があつて、外からうかがい知れない事がある中ですが、私たちは常に学校に行けなかったり、マイナスな事を抱えている子供達を見守っていくという事を引き続きしていきたいと思っております。</p> <p>内面をキャッチするというのは難しい事ですが、地域にいる者としてその辺りを意識してキャッチできるように、何かあつたら学校や市との連携をしていけたらなと思います。以上です。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>民生委員・児童委員の立場上で場合によっては生活相談等々ご相談されたり難しい部分があつたりするのではないかなと思います。</p> <p>続きまして、トランポリンの指導等を通じて青少年と接する機会も多い立場からお話を伺いたいと思います。よろしく願いいたします。</p>
議長	<p>まず、先程の少年の主張がとても素晴らしく、感動しました。</p>
委員	<p>私の方からは、地域の三郷市、そして八潮市、葛飾区と三郷市に近いところから、49名の小学生をお預かりしている中で、コロナ禍から5類に移行し時を経て現在の違いですがという内容に対してですが子ども達、現小学校に関しては何も変わっておりません。正確に言いますと大人が変わった。特に5類に移行したことでインフルエンザの扱いはどうなのか。マスクの有無はどうなのか。右往左往しているのは保護者だけであつて、子ども達は何も変わっていないというのが現状です。</p> <p>そして今、私のクラブ及び子ども達に求められている、もしくは提供したいことは、その子一人一人に丁度良い目標を与える、達成感を共有するこの二点だけを追求しております。</p> <p>そうすると先程から問題視されているいじめであつたり不登校であつたり、ま</p>

るで私のクラブの子達は無縁の存在であり、仮に学校に行かない子達であっても当クラブには休んだりすることがないくらい、みなさん楽しんで来てくれています。なので、大きな意味で学校に係る皆さんはお忙しいとは思いますが、やはりその子その子によつての目標設定をちゃんと提示してあげることが、一番子どもを助ける事なのではないのかな。と思います。

それと、令和5年度の校長先生の勇気と覚悟というのがあり気になったのですが、夢無き者に理想なし。というのがあります、出来れば夢を持ってもらいたいですね、ただ果たして小学生で夢を本当に描けるのかなと思ったりすると非常に難問なのではないのかなと思います。何故かという、私が小学生の頃あなたの夢を語ってください。もしくは書いてくださいという事に対して、非常に書けなかった人間で残念ながら、私が夢を実現、又は夢として公に言えるようになったのは47歳くらいだったので、なかなか夢というのを表現できなかった、なかなかこれは凄いテーマだなと思って恐々と読んでおりました。

何が言いたいかと申しますと、意外に目標設定で難しいテーマを与えてしまうと、サラッと笑って終わってしまったり、先程の少数派多数派の流れではありませんが、多数の意見に合わせてしまい本当は自分では思っていない事を、そう言った方がいいのではないかと流されてしまう傾向があるので、私はこういう事に質問などせず今日出来ていること、明後日来る時にこの子には何を求められているかを個別に判断して、なるべく課題と宿題と時間を共有する積み重ねが一番の信頼関係を作れる第一歩なのかなと思いましたので、まず夢というよりも明後日出来る事を共に時間を共有していくことを私たちは全力でやっております。

これからも出来る事なら多くの子ども達をお預かりさせていただいて、先程警察の方からもありましたように、中学生になってから色々な意味で大きな事件とか補導とか、小学生までは本当に純粹無垢なのですが中学生にあがった瞬間に一気に派手になる、それにより捕まりやすくなったり、目につきやすくなったりするので、中学生になる子が私のクラブでお預かりさせていただければまた違う方向性を示せるのではないかと思います。まだ私のクラブは6年目なので来年から始めて中学1年生という感じなので、中学生の事例をまた一緒に作れていたら犯罪件数を減らすという意味ではなく、子どもに寄り添えるような環境の一つとして根付いていけたらと思いましたが、また情報共有の場をいただけたらと思います。以上です。

ありがとうございました。

クラブに現在49名というところでクラブ員も増えているのではないかと思います。子ども達に寄り添っていけたら良いのではないかとのご意見でした。

本来であれば他の委員の皆さまからもそれぞれのお立場で取り組んでいらっしゃることや、課題に感じられていることを伺いたいところですが、協議時間も残りわずかとなってしまいました。

議長

<p>事務局 議長</p>	<p>その他に何かございますか。 よろしいでしょうか。 それでは、その他ご質問やご意見等がございましたら、事務局あてにお聞かせいただければと思います。今後の協議に生かしていきたいと思ひます。ありがとうございました。 時間の都合上次に進ませていただきます。</p> <p>(3) その他 続きまして、議事の(3)「その他」ですが、事務局から報告がありましたらお願いします。</p> <p>次回の協議会日程について</p> <p>本日は委員の皆様から貴重なご意見等いただきまして、誠にありがとうございました。 なお、本日皆様方から頂戴しましたご意見等につきましては、市の青少年関係行政協議会等に周知するなど、広く青少年行政に役立てて参りたいと考えております。 長時間にわたりご協力ありがとうございました。</p> <p>7 閉 会 平井副会長</p>
-------------------	---